

3学年だより

NO 593

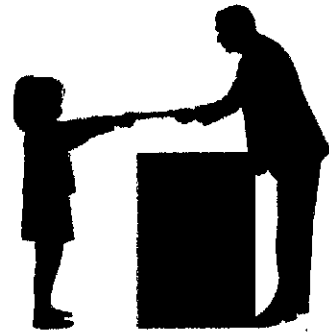
飛翔

令和3年2月19日



小田原市立城山中学校
学年主任 水野喜代治

飛翔



卒業証書授与式の練習が始まった。

名前を呼ばれて、ステージの階段を登る。

演台の前で、気をつけをする。

気をつけをした後に、卒業証書を受け取るために、一歩大きく前に出る。

一歩踏み出して、手を伸ばしたら、校長先生から卒業証書を受け取れる距離に近づく。

気をつけをする位置と一歩踏み出して証書を受け取る位置に目印のテープが床に貼ってある。

テープとテープの間隔は、少し大股で一歩出ないと届かない距離になっている。

普段、歩いている時より、少し大きく一歩を踏み出す必要がある。

意識して、一歩を踏み出す。

私は、授与式のこの一歩を踏み出す瞬間が好きだ。

この一歩は、卒業証書を受け取るための一歩。

つまり、中学生としても最後の一歩である。

そして、高校生になるスタートとしての一歩でもある。

ですから、一歩を踏み出す瞬間に決意が伴う。

演台の前に立ち止まり、中学校生活に自らピリオドを打つ決心をして一歩を踏み出す。

中学生という服を脱ぎ捨てて、一歩、大人の世界に飛び込む瞬間だ。

厳粛な空気の中、一歩前に踏み出す一人ひとりの生徒の気持ちが伝わってくる。

「ありがとう」「頑張ります」「さようなら」など、言葉で表現したら色々な言葉が浮かぶ。

あなたは、どんな言葉で一歩を踏み出しますか。

卒業式、当日、体育館にいるすべての人がみんなの一歩を楽しみにしています。

大人になる瞬間を……。

飛翔する瞬間を……。